

新型コロナウイルス感染症について、なかなか出口が見えない状況が続いています。ウイルスは人を選びませんし目にも見えません。だから、誰もがかかる可能性があります。そして、どんなに注意していても感染してしまうこともあります。感染予防とともに、そのことをみなさん一人ひとりが理解した上で、**人権に配慮した行動**を正しくとれるかどうかということが大切です。みなさんを見てみると、そういった人権に配慮した行動を正しくとれています。本当に素晴らしいと思います。

〇〇株といった新しい変異株が現れるたびに、わからないことも多いため、私たちは不安になったり、恐ろしくなったりします。しかし、これまでどおり冷静に思いやりのある行動を心がけ、箕島中学校のみなさんの心を一つにして、新型コロナウイルスに立ち向かっていきましょう。

厚生労働省によると感染予防のために大切なキーワードは、【**距離と時間**】だそうです。必要な感染予防策をせずに手で触れたり、対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度以内）で15分以上の接触をすることは避けなくてはなりません。自分を守る、仲間を守る意味でも、日頃からみなさんはきとんとできていることですが、今一度、下に載せていることをしっかりと心がけてください。

徹底しよう！ ～自分を守る、仲間を守るために～

感染予防の3原則

- 感染源を絶つこと
 - ・発熱や咳、味覚・嗅覚異常などの症状が見られる場合は、登校しない(医療機関を受診する)。
 - ・同居する家族に発熱や咳、味覚・嗅覚異常などの症状が見られる場合や、同居する家族が風邪の症状等で通院する場合も登校はしない。
 - ・健康チェックの活用
- 感染経路を絶つこと
 - ・飛沫感染・接触感染の防止
 - ・手洗い(手洗い6つのタイミング)
 - ・マスク(不織布製の情報提供)やハンカチ
 - ・咳エチケット
 - ・給食は黙食
- 抵抗力を高めること
 - ・十分な睡眠
 - ・適度な運動
 - ・バランスのとれた食事



教育活動での3つの配慮

- 換気の悪い「密閉」の空間をつくらない
 - ・2方向の窓を同時に開けて行う。
- 多くの人数での活動の際は、「密集」が長くないようにする
 - ・身体的距離を確保する。できるだけ2メートル(最低1メートル)空ける。教室の座席など最大限で距離をとる。
- 「密接」による直接・間接接触による感染の危険性に留意する
 - ・授業は「具体的な活動場面ごとの感染症予防対策について」に基づき行う。
 - ・感染リスクの高い活動を見合わせる。

学びの保障

オンラインで授業を流すことは継続します。